

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／25日（月）	林（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 市長選挙の総括と2期目の意気込みについて</b></p> <p>令和4年6月12日執行の大野市長選挙において、「教育・子育ての充実」、「感染症対策と健幸のまちづくり」、「地域経済の活性化」、「くらし環境の向上と脱炭素」、「助け合い支え合いの地域づくり」、「行政経営とデジタル化」の6つの方法を示して臨んだ石山市長が2期目の当選を果たした。</p> <p>今回の市長選は投票率が過去2番目に低い49.88%であった。投票総数13,288票のうち、自身の得票数10,861票は前回4年前より増えたが、相手候補に2,228票（17.02%）が流れ、無効投票も199票（1.50%）と増加した。</p> <p>そこで次の2点を問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市長は今回の選挙結果をどのように受け止め、分析しているのか。</li> <li>○ 6つの方法のうち、市民から特に多かった声は何だったのか。また、その声を受けて、誇れるまち大野市づくりのかじ取りをどう進めていくのか、市長の意気込みを伺う。</li> </ul>
			<p><b>2 地域の活力や市内事業者の稼ぐ力に応える行政運営について</b></p> <p>整備が進む中部縦貫自動車道の大野インターチェンジ以東の開通が間近に迫っている。開通効果が本市の持続的な発展にどう結び付いていくのかを市民や市内事業者にも実感してもらい、一緒に活動する仲間になってもらうことが必要である。</p> <p>市はこれまで総ブランド化を掲げて本市の魅力度や認知度向上に取り組んできたが、令和4年2月に策定した「越前おおの産業ブランド力向上戦略」において、市内事業者の「稼ぐ力」と企業価値の向上を図り、地域経済の自立と好循環の実現を目指すとした。また高速交通網の整備効果を逃すことなく市として取り組むべき事柄を明記した大野市高速交通アクションプログラムを同年5月に改訂した。</p> <p>近年、近隣市町で地域の魅力を高める官民による投資が積極的に行われており、本市にとって脅威である一方、エリア全体の価値を高めることで誘客効果を高められるチャンスともいえる。</p> <p>地域住民が課題を共有して定住人口の増加を図りつつ、人口減少が続く中において外貨を獲得して市民所得の上昇を図り、地域内経済循環を促進し、社会経済基盤を充実させていかなければ住み続けたいまちとはならない。</p> <p>行政は地価の下落や人口減少に歯止めをかけて税収を確保する観点からも、稼げる地域資源を生かした産業の振興や育成に対する効果的な投資、協働の行政運営が求められることから、次の3点を問う。</p>

令和4年7月 第428回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／25日 (月)	林 (新風会・公明)	一括質問・答弁方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 働き手であり地域の担い手でもある生産年齢人口（15歳～64歳）の本市における現状と今後の推移は。</li> <li>○ 本市に設置される中部縦貫自動車道各インターチェンジの正式名称の公表時期と、案内標識やパンフ、ホームページ等の更新計画は。</li> <li>○ 名水と城下町エリア、六呂師・阪谷エリア、九頭竜エリアの各地域における誘客の取り組み状況と市内事業者との連携事例は。 また国・県や地域住民との連携、公共施設や公共空間の利活用などを積極的に進めていくべきだと考えるが、各部署の対応方針にズレはないか。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) / 25日(月)	永田(清風会)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 市長選挙の総括について</b></p> <p>○ 今回の市長選挙で得た市民からの負託について、どのように受け止めているのか伺う。</p> <p>○ 多くの市民の皆さまの意見を伺う良い機会になったかと思う。引き続き、若者世代や子育て世代に仲間になっていただき市政運営に当たることが魅力あふれる越前おおのをつくり上げることにつながると思われるが、市長は2期目の取り組みとして、どのように考えているのか伺う。</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症は、感染力の高いBA5型へと置き換わり第7波が襲来している中、物価高騰対策など課題も多く、常にスピード感を持って市政運営にまい進する必要がある。市長にはこれまで以上に現状を冷静に分析し、本市の将来の方向を見極めて決断する、より強いリーダーシップが求められていると考えるが、市長の考えを伺う。</p>
			<p><b>2 市長の政治姿勢について</b></p> <p>「みんなが大野を好きになる、未来へつなぐまちづくりの6つの方法」について伺う。</p> <p>○ 教育・子育ての充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、市民にとってより良い文化会館の整備の在り方や結(ゆい)を後世へ伝えるための民俗資料館の整備の在り方などについて、どのような考えを持っているか伺う。</li> <li>・ 「全天候型の子どもの遊び場づくり」について、市内のプロジェクトチームで検討を始めているとしているがどのようなスケジュールで取り組んでいくのか伺う。</li> </ul> <p>○ 感染症対策と健幸のまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヘルスウォーキングプログラムの効果をどのように捉えているのか。また赤ちゃんや子どもたちの健幸づくりはどのようなことを考えているのか伺う。</li> </ul>

令和4年7月 第428回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／25日（月）	永田（清風会）	一括質問・答弁方式	<p>○地域経済の活性化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2年半以上続く新型コロナウイルス感染症の拡大や、ロシアのウクライナ侵攻の影響により原油価格と物価が高騰し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交</li> </ul> <p>金を使っているいろいろな支援策を行っているが、そのほかの市民の生活支援などについて、どのように考えているのか伺う。</p> <p>○くらし環境の向上と脱炭素について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちなか循環バス、JR越美北線の日常利用の利用状況など持続可能な公共交通の在り方の検討とあるが、地域交通計画について伺う。</li> </ul> <p>○助け合い支え合いの地域づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少の中にあっても、助け合い支え合いによる大野らしい地域づくりに取り組んでいく上では、児童・生徒など子どもたちや若者世代、女性参加が重要であるが考えを伺う。</li> </ul> <p>○行政経営とデジタル化（行財政改革）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な地域づくりを進めるため、市政を運営していくに当たり、市職員に具体的にどのようなことを求めるのか。また、ふるさと納税やクラウドファンディングなどの手法はどのような施策を考えているのか伺う。</li> <li>大野市地域安全克雪方針の策定とあるが、日常の除排雪に至るものなのか、その概要を伺う。</li> </ul> <p>○消防行政について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防の広域化やデジタル化については、スケールメリットや効率化の観点から検討されたことがあるが、現在の状況について伺う。また救急救助における県の防災ヘリコプター及びドクターヘリコプターの運用状況について伺う。</li> <li>消防団員の人員確保については、就業形態の変化と人口減少・少子高齢化社会が進む中、各分団において腐心されているように聞くが、状況を伺う。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／25日（月）	木戸屋（未来おおの）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 大野市の治水対策について</b></p> <p>昨今異常気象と表現される機会が多くなり、毎年全国各地に洪水による甚大な被害が発生している。本市においても、自然災害の中で水害は発生する可能性の高い災害である。</p> <p>令和3年2月に策定された第六次大野市総合計画前期基本計画でも、この点に関して施策が掲げられている。基本目標「くらし環境」分野に、「国や県、流域市町などあらゆる関係者が協働して、九頭竜川水系の流域全体で水害を軽減させる流域治水に取り組みます」、また「赤根川と清滝川について、早期に河川改修事業に着手し、総合的な治水対策を行うよう、引き続き県に要望していきます」と明記してある。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大野市が九頭竜川水系で水害を軽減させるために取り組んでいる流域治水の対策はどのようなものか。</li> <li>○ 赤根川と清滝川について、総合的な治水対策を行うよう、県にどのように働き掛けているのか。</li> </ul>
			<p><b>2 まちなかのにぎわい創出について</b></p> <p>道の駅「越前おおの荒島の郷」では、初年度の入込客数、販売実績は共に目標を達成して、現在のところ本市の活性化に貢献していると思われる。片や旧市街地である「まちなか」では、店舗数や観光客の減少傾向がみられ、実感としてにぎわいが下降していると感じられる。</p> <p>第六次大野市総合計画前期基本計画の「地域経済」分野では、事業承継の支援、飲食店での「大野ならではの」飲食物提供の促進、店舗や商店街などの創意工夫による販売促進やイベントへの支援などを掲げている。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道の駅「越前おおの荒島の郷」と「まちなか」の観光客をつなげる取り組みで効果を上げている施策は何か。また、今後この2カ所をつなげるために、どのようなことに取り組んでいくのか。</li> <li>○ まちなか観光の目玉として挙げている「七間朝市」の近年の衰退は顕著である。「七間朝市」を盛り上げるために、市としてどのような支援を行っているのか。</li> <li>○ 「地域経済」分野の支援では、補助金以外にどのような支援を行っているのか。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) / 25日(月)	伊東(新風会・公明)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 物価高騰対策について</b></p> <p>昨年から続く物価高騰に加え、ロシアのウクライナ侵略などの影響が拍車を掛け、エネルギー・食料品の価格が急騰している。 そこで物価高騰から生活者や事業者を守る対策について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合緊急対策で、国はコロナ禍における原油価格・物価高騰に対し、自治体の実情に応じて使えるよう地方創生臨時交付金を拡充したが、本市は市独自の生活者支援について、どのように考えているのか。</li> <li>○ 急激な物価高により材料費が上がっても、それを価格に転嫁できずに苦しむ事業者が増えている。事業者支援については、どのように考えているのか。</li> </ul> <p><b>2 子育て支援について</b></p> <p>石山市長が選挙公約に掲げた「未来へつなぐまちづくり」6つの方法の1つ目には「教育・子育ての充実」とあり、喫緊の課題である少子化対策に向け、具体的な取り組みが示されている。 そこで子育て世代のニーズの高い2点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全天候型の子どもの遊び場として、保護者の声が反映された屋内施設の一日も早い整備が求められるが、いつ頃、どこに整備するのか。また、その規模や今後の計画はどのようになるのか伺う。</li> <li>○ 放課後の子どもの居場所づくりとして、放課後児童クラブと放課後子ども教室があるが、長期休業中の対応が違うことから早急な対策を望む声が多く聞かれる。少子化対策が叫ばれる中、目の前の苦悩する保護者に寄り添った対策が急がれるが、子どもの居場所づくりについて市の見解を伺う。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／25日（月）	松本（無党派）	一問一答方式	<p><b>1 高齢者の生きがいくりについて</b></p> <p>人生100年時代になり、今まで働いてきてくれた高齢者に感謝しなければならない。また、その中において高齢者の方には健康で生きがいを持って過ごしてもらうことが一番であるとする。</p> <p>そこで高齢者の生きがいくりについて伺う。</p> <p>○ このコロナ禍の中で、いろいろな行事等が中止になってきた。もちろん高齢者にとっても同じであった。そういった中で、どのように高齢者の生きがいくりに努めてきたのか。また、その評価について伺う。</p> <p>○ 今後もしばらくはコロナ禍が続くといわれているが、これまでの経験を受けて、どのように高齢者の生きがいくりを進めていく方針か。</p> <p>○ 高齢者になっても生きがいを持ち続けるためには、小さい頃から社会参加や地域とのつながりを持つこと、趣味や余暇を楽しむ余裕を持った生活をするのが大切であり、いろいろなことに興味を持って経験し、自分の価値を見出せるものに出会うことが必要だと考える。</p> <p>ただ、働く世代の市民の方には、残業等のため、そういったことをすることに困難が伴うことが多い。</p> <p>このような問題を解決するために、本市はどのように市民に寄り添って解決していくのか、見解を伺う。</p> <p>○ 高齢者の生きがいくりに、自家用車等での移動手段も必要だと思われるが、自動車運転免許証自主返納数の推移はどうなっているのか。またSDGsの観点で、自主返納後の移動手段をどのように考えているのか知りたい。さらに65歳以上の方で免許自主返納をした人の近年の大野市無料バス乗車券の利用推移を知りたい。</p>
			<p><b>2 大野市内の道路について</b></p> <p>今、全国的にもガソリンの値段が高騰している。そのため、本市でも普通自動車から軽自動車、自転車、徒歩等に交通手段を切り替える市民の方が増えてくるのではないかと考えられる。</p> <p>一方で道路は、経年劣化やマンホールの影響でかなりがたがたしているところも歩道等を含めて見受けられる。</p> <p>そういった道路を走行する軽自動車、自転車、歩行者等にはとても危険な状態になっていると考えられる。</p>

令和4年7月 第428回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／25日 (月)	松本 (無党派)	一問一答方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道路路面のパトロールは実施しているのか伺う。その結果、改修が必要な箇所は道路全体の何割ぐらいあったのか。 また財政状況の厳しい中、それらを改修するための中長期的な計画はあるのか。</li> <li>○ 歩道の安全のための予算付けはあるのか。</li> <li>○ 道のフラット化はどの程度進めているのか。歩道に段差があると、シニアカーで歩道を横断することは困難であるといった声が聞かれる。</li> </ul>



令和4年7月 第428回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／25日 (月)	高岡 (双葉会)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 市長の政治姿勢について</b></p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市長が考える大野市の宝とは何か。</li> <li>○ 市長が唱える最大のチャンスである高速交通アクションプログラムに沿ったまちづくりの進捗(しんちよく)はどうか。</li> <li>○ 市長は管内農業の現状をどのように考えるか。</li> </ul> <p><b>2 教育長の政治姿勢について</b></p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中学校先行再編における進捗はどうか。</li> <li>○ 再編以降に考えている教育方針は。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／26日（火）	廣田（清風会）	一問一答方式	<p><b>1 大野市の農業政策について</b></p> <p>令和4年2月に越前おおの型食・農業・農村ビジョンが改訂され、5月には農業経営基盤強化促進法が改正された。5年後・10年後の農業の在り方について、以下3点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 補正予算の農業生産費高騰対策事業補助は、福井県6月補正予算のふくい農業生産緊急支援事業の上積み予算だと思われるが、県・市合わせてどのような予算内容か。</li> <li>○ 当市では「儲かる農業」を推進しているが、「儲かる農業」を目指すにはどのような取り組みが必要か。</li> <li>○ 人口減少、離農者が増える中での農地・農業施設の維持管理について聞きたい。</li> </ul> <p><b>2 運動部活動の地域移行について</b></p> <p>運動部活動の地域移行に関する検討会議は、スポーツ団体や教育関係者らが委員を務め、令和3年10月より開催。運動部活動の改革として、地域への移行の在り方、地域の受け皿や指導者等の検討を重ね、令和4年4月26日の第6回会議で「少子化の中、将来にわたり子供たちがスポーツに親しめる機会の確保に向けて」と題した提言案を公表した。</p> <p>また、文化部活動の地域移行についても8月に最終的な提言を取りまとめる方針とされているが、大野市の取り組みについて伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 補正予算に計上された部活動地域移行推進事業について聞きたい。</li> <li>○ 休日の運動部活動を地域移行させていく予定だが、平日の部活動との連携や地域移行についてはどのように考えているのか。</li> <li>○ 休日の部活動移行について、保護者や各団体の経費負担が増えると思われるが補助や助成を考えているのか。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／26日（火）	白崎（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 指定管理者制度の運用について</b></p> <p>指定管理者制度の運用に関して、以下の4点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運用指針が平成22年に策定され、その後、平成25年及び令和元年の2回改定されているが、どのような改定を行なってきたのか。</li> <li>○ 現在、指定管理者制度に係る公募・非公募に関して、それぞれの設置目的や件数等の直近の内訳はどのようになっているのか。</li> <li>○ 選定委員会の学識経験者のうち、経営分析等を行うための委員が税理士のみとなっているのはなぜか。</li> <li>○ 福井市では、指定管理者制度導入施設において、指定管理者が自ら評価する「指定管理者モニタリング」と、指定管理者からの定期的な報告を基に管理運営が適正に行われているかを現地調査により確認する「所属モニタリング」、これらを踏まえて指定管理者の管理運営やサービスが適正かつ効率的に行われているかどうか、施設所管所属が適切に指導監督を行っているかどうかを評価する「第三者モニタリング」を実施し、ホームページで公開している。 当市においてもこのような第三者が定期的に評価する仕組みが必要ではないか。</li> </ul>
			<p><b>2 大野市公共施設の譲渡・除却について</b></p> <p>令和4年3月に改訂された大野市公共施設等総合管理計画～大野市公共施設再編計画編～の状況について、以下の3点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大野市公共施設再編計画編の中で、施設の方向性が廃止とされている譲渡15施設・除却5施設について、現在は検討・交渉の状況も含めてどのような状況にあるのか。</li> <li>○ 検討・交渉はどの部署で行われているのか。</li> <li>○ 今後、借地の返還や契約行為、公共施設の有効活用も含めて、専門部署を設置して検討・交渉を行っていくことで信頼関係を築いていくことも必要ではないか。</li> </ul>

令和4年7月 第428回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／26日 (火)	白崎 (新風会・公明)	一括質問・答弁方式	<p><b>3 中学校再編に向けた状況について</b></p> <p>令和6年4月の中学校再編に向けて、以下の4点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各中学校の令和4年度新入生の指定学校変更の相談や申請の状況及び令和5年度新入生の相談や申請の状況はどのようになっているか。</li> <li>○ 令和6年4月の中学校再編前に指定学校の変更申請があった場合、どのように対応していくのか。</li> <li>○ 令和6年4月の中学校再編に向けた準備委員会が設置されているが、現在の進捗(しんちよく)状況、本年度の予定及び来年度の予定はどうなっているのか。</li> <li>○ 再編準備委員会には中学1年生の保護者代表は参画しているが、小学6年生の保護者代表としての参画はないようである。委員会での議論の状況は、今回の再編の当事者である小学6年生の保護者に対してどのように周知しているのか。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／26日（火）	榮（日本共産党大野市議団）	一問一答方式	<p><b>1 無風状態の市長選の困難さと、その教訓について</b></p> <p>石山市長の市政への2期目のかじ取りの手法は。選挙戦を通じての市民の期待はさまざまであろうが、その受け止めを伺う。</p> <p><b>2 第三期大野市環境基本計画について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第三期計画の第3章「低炭素社会の実現」に対する危機意識について、どのように位置付けているか。</li> <li>○ 低炭素型のエコライフや事業活動が定着した社会の希望をどこに見出すのか。</li> <li>○ 第三期基本計画は、2021年度から2030年度までの計画だが、大野市ゼロカーボンシティ宣言では、2050年までに市内の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする大野市の実現を宣言している。2030年度の二酸化炭素削減の目標値は何パーセントを見込んでいるか。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) / 26日(火)	野村 (日本共産党大野市議団)	一問一答方式	<p><b>1 物価高から市民を守る施策を強化すべきではないか</b></p> <p>原油高騰により、あらゆるところで価格上昇・物価高を招き、中小企業や小規模店、家計を圧迫している。 また農業資材の大半を輸入に依存するわが国の農業経営は、資材高騰の影響を強く受け、危機に陥っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 燃料費補助など物価高に対する市民への支援を強化すべきではないか。</li> <li>○ 市独自の農業支援を強化すべきではないか。</li> </ul> <p><b>2 物価高の中で国民を苦しめる制度に中止を求めるべきではないか</b></p> <p>物価高の中で、慢性的に病気を抱える高齢者の受診行動にブレーキをかける危険がある。 また年間の売上高1,000万円以下の業者は現在、消費税の納税を免除されている。インボイス制度は、消費税を販売価格に転嫁することが困難な零細業者に課税業者になることを迫り、廃業が増えかねない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 75歳以上の医療費窓口負担2倍化が市民に与える影響をどのように考えるか。</li> <li>○ 75歳以上の医療費窓口負担2倍化の中止を求めるべきではないか。</li> <li>○ インボイス制度が市民に与える影響をどのように考えるか。</li> <li>○ インボイス制度の中止を求めるべきではないか。</li> </ul>

令和4年7月 第428回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／26日 (火)	梅林 (無党派)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 石山市政2期目における健全な水循環に向けての取り組みについて</b></p> <hr/> <p>○ 市長の考える本市の地下水マネジメントとはどのようなものか。</p> <p>○ 440年以上守り続けてきた、いのちの水である本市の「地下水」を未来に引き継ぎ、50年先、100年先も飲み続けられるまちづくりが求められるが、近年の地下水位の低下等により心配する市民も多い。 このような中において、泉町エリアの公共下水道整備における地下水マネジメントをどのように考えているのか。</p>
			<p><b>2 未来を拓く大野っ子が健やかに育つまちについて</b></p> <hr/> <p>○ 国型コミュニティー・スクールに求めるものは何か。</p> <p>○ 全天候型の子どもの遊び場についての取り組みを伺う。</p>